環境マネジメント

三井金属グループは、地球環境の保全を経営上の最重要課題の一つと位置づけ、
環境管理体制の高度化と社員の環境意識の向上に取り組んでいます。

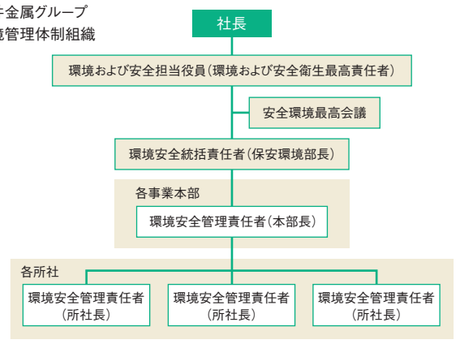
環境マネジメントシステムの構築

三井金属グループは、2001年に「環境行動計画」を策定し、ISO14001の認証取得もしくはこれに準拠した環境管理体制の整備を進めることを明らかにしました。2007年3月には予定していた37所社すべてにおいて環境マネジメントシステムの構築を完了。以降、今日までP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)のサイクルを実践し、環境マネジメントシステムの定着を図っています。

環境管理体制

三井金属グループは、安全環境に係わる最重要事項を審議・決定する場として「安全環境最高会議」を設置しています。環境および安全衛生最高責任者を議長、各事業ラインの長をメンバーとする本会議において決定された方針や行動計画は、環境および安全担当役員の指揮のもと、環境安全統括責任者(保安環境部長)によって各事業本部へ伝達されます。各事業本部では、本部長主導のもと所社長が環境安全管理責任者として決定事項を確実に遂行します。

三井金属グループ
環境管理体制組織



環境および安全衛生最高責任者メッセージ

万全の環境管理体制と充実した教育研修システムのもと環境と安全を追求する企業グループの確立をめざしています。

環境保全と安全衛生管理は、現在もそして将来も変わることのない経営上の重要課題です。私たちは、この美しい地球と、安全操業で社会に貢献する三井金属グループを次の世代に残していかなければなりません。

2011年度も、当社グループはさまざまな取り組みを通じて環境・安全対応のレベルアップを図りました。①教育研修の充実化による従業員の意識向上、②設備の本質安全化、③現場チェックの徹底——このサイクルを繰り返すことで、環境事故や労働災害の防止、作業環境の改善、生産工程における環境負荷の低減を進めています。また、環境・安全施策の進捗状況を確認し、さらなる強化を図るため、環境・安全監査にも注力しています。

当社グループは今後も、環境マネジメントシステムの一層の高度化に取り組むと同時に、各種法令の理解に重点を置いた環境・安全教育の推進に努め、地球環境の保全と安全操業の継続を目指してまいります。

佐藤 敬
取締役 兼 常務執行役員
環境および安全衛生最高責任者

環境監査

厳格な監査により環境リスクの低減を図っています

生産活動を行っている全45所社を対象に環境監査を実施しています。監査の頻度は、鉱山や製錬といった環境リスクの高い所社は毎年1回、部品加工などのうち環境リスクが中程度の所社は2年に1回、環境リスクが低い所社は3年に1回となっています。2011年度は計29所社で監査を実施しました。

環境監査は通常2名以上で半日から2日を費やして行います。前回監査時に指摘された事項への対応状況や足下のリスクを現地で確認するとともに、ISO14001に則った監査とパフォーマンスデータ(排水や排ガスの測定値など)のチェックを実施します。各所社は監査で指摘された事項に関して当該年度内に処置を完了させています。

環境管理への投資と経費

環境汚染の防止ならびに環境負荷の低減に向けて、経営資源を積極的に投入しています。2011年度の環境管理のための経費は35.1億円で、前年比約3.6%の増となりました。環境関連投資は15.7億円で前年比約5.9%の減でした。

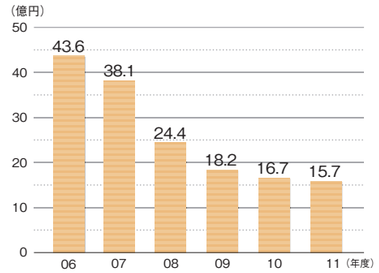
環境管理経費額(単位:億円)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
廃棄物処理委託費用	8.2	6.0	4.7	5.7	6.1
エネルギー費用	6.1	5.4	4.7	3.8	5.8
保修繕費用	3.6	4.0	1.6	3.2	3.9
その他(労務費、物品費など)	25.3	27.2	18.4	21.2	19.3
環境管理経費　計	43.2	42.6	29.4	33.9	35.1

2011年度の設備投資内容(投資額上位5所社)

神岡鉱業	排水処理施設修繕、硫酸工場2系乾燥塔更新、3,000t硫酸タンク側板・底板更新
八戸製錬	精鉱貯鉱舎屋根更新、溶鉱炉下部ケーシング更新、溶鉱炉炉頂キャスター・炉蓋更新
三池レアメタル	アンモニア回収設備設置
竹原製煉所	環境バグ更新、インジウム作業環境対策
特殊銅箔	カット空調用チラーユニット更新、危険物倉庫空調設備設置、溶剤倉庫新規設置

環境関連投資の推移(2006年度分～2011年度分)



環境教育

三井金属は、社員一人ひとりが高い環境意識を持ち、環境保全の取り組みを各職場で実践していくことが環境活動の要であると考え、環境法令の遵守に向けた教育をグループをあげて推進しています。2003年度から全所社を対象とした環境関連法令研修会を本社集合研修として実施しているほか、2005年度からは各所社の現場担当者(係長、作業長層)を集め、自身が直接関わっている環境側面への法的な要求事項の理解を目的に、各種環境関連法令についての研修会を開催しています。

2011年度の法令研修開催実績

三井金属グループでは人材は成長の最重要資源との認識のもと、一人ひとりの可能性と原動力を引き出し、「ものづくり」に強い三井金属を実現するために、「ありたい人材像」を掲げ、継続的・計画的に「ひとづくり」を推進しており、2011年度よりベーシックスキル研修として環境法令を中心とした環境教育を実践しております。

ベーシックスキル研修：環境	東京本社	9月2日	26名
ベーシックスキル研修：環境	彦島製錬所	9月27日	18名
ベーシックスキル研修：環境	三池事務所	11月2日	21名
環境講習	韮崎事務所	12月22日	26名